

2024年4月 定例山行 鳴虫山 (なきむしやま)

栃木県日光市 標高 1103m 山のグレーディング：2-A (中初級)

日時：4月20日(土) 天気：晴れ
集合場所：JR武蔵野線 北朝霞駅改札前
集合時間：5:15 (5:24 出発)
交通手段：電車、路線バス
交通費：5,252円 (往路 1,631円 復路 3,341円 特急代含む バス 280円)

アクセス：往路 5:24 北朝霞 (武蔵野線) → 5:45 南越谷 →
6:01 新越谷 (スカイツリーライン急行) →
6:19 東武動物公園 (乗り換え) → 6:31 南栗橋 (東武日光線) →
8:09 東武日光
復路 14:57 東武日光 (特急リバティけごん) → 16:11 春日部 →
16:38 新越谷 → 16:50 南越谷 → 17:11 北朝霞

コース：8:09 東武日光駅着 → トイレ → 発 8:20 →
8:37 御幸町 (ごこうまち) の橋 (準備体操) →
8:43 鳴虫山登山口 → 9:30 神ノ主山 (このすやま 841m) →
10:55 鳴虫山着 (昼食) 発 11:35 → 11:57 合峰 (がっぼう 1084m) →
12:50 独標 (どっぴょう 925m) → 13:45 発電所 →
13:50 憾満ヶ淵 (かんまんがふち) 化け地蔵 → 14:07 トイレ →
14:20 安川町バス停 → 路線バス → 14:30 東武日光駅

歩行距離・時間：8.4km・5時間20分 上り 728m 下り 663m

班構成 先頭 CL 加藤 (芳)
1班 笠原 (さ) 亀山 伊志嶺 斎藤
2班 大橋 金子 高瀬 佐藤 崔
3班 宮澤 染谷 笠原 (恵) タイン
後尾 土田 全体サポート 新井 動画 田村 計 17名

持ち物：通常装備 昼食 行動食 飲料水 雨具
地図：山と高原地図 13 日光 白根山・男体山 (昭文社)
担当：CL 加藤 (芳) 080-6819-9360 SL 土田 090-6312-6341

危険で体力も必要な山だったが、その覚悟でみなさんが参加してくれて、無事に楽しく今季最初の4月会山行を終えることができてよかった。

最初のピークで1名が気持ち悪くなり吐きそうだと言い出した。戻るかそのまま進むかしばらく話し合った。リンゴを食べしばらく休むと落ち着いたようだったので、結局はそのまま進むことになったが、もし戻る場合、誰が付き添って戻るのか？今回は担当でない人が下見に同行してくれたのでその人に任せるのが妥当だったが、もし担当者しか下見をしていなかった場合は全体サポーターに頼むのが妥当だろうか。来た以上は誰もが山頂までは行きたいので、きちんと戻るときのルールを話し合う必要を感じた。

集合場所には来ずに別ルートで現地合流した人がいたが、朝、集合場所に来ないので心配した。Cさんにだけに連絡があった。その場合はまずはリーダーに連絡すべきだ。

登山口までの途中で列から抜けてコンビニに寄った人がいたが、その場合もリーダーか班長に連絡することが必要だ。

乗り換えが多かったので班編成の紙にアクセスを書いて、班長に人数掌握してもらったのは良かった。

アカヤシオが満開で一番この山には良い季節だった。

山頂までいくつものピークがあり、アップダウンを繰り返した。山頂からの下りにも登りが数か所あり、登りも下りも変化があったのは単調にならずに良かったし訓練にもなった。
(SL 土田さんのコメントより)

集合時間が早かったため、遅刻者が出ないか心配していたが杞憂だった。お天気も良く、時間も予定より早く終わることができて素晴らしい山行になった。暖かいのだが風が程よく吹いていたため、汗がダラダラ流れるという不快さはなかった。本来だと登りやすい山ということだが、山道が荒れていたり階段が崩れていたため 難易度が高くなっていた。難しい分大いに楽しめたというか、たいへん登り甲斐のある山だった。

登り始めに気分がすぐれないと申し出た方がいたが、すぐに回復し大事には至らず安心した。会員の皆さんが驚くほどの健脚で、列に乱れもなく終始余裕を持った行動ができて良かった。登山道全体が木の根っこが張り巡らされて歩きにくい道のりだったが、地面が乾いていたため滑ることはなかった。

頂上からの眺めはおおむね木々に遮られてしまって残念だったが、それでも所々で木々の隙間からは男体山、太郎山、女峰山の連なる雄姿も垣間見えた。山頂のアカヤシオは満開になっていて良かった。頂上以外ではカタクリやミツマタもちょうど開花時期で、花々の姿も楽しめて幸運だった。下山後は憾満ヶ淵で溪流の美しさや並び地蔵が見られて観光気分も味わえた。清々しい春の山を満喫し、会員の方々と思う充分に山行を楽しんだ。 (CL 加藤 記)